

教職支援センター講師の主な教育活動業績

2018. 4. 1時点

講師氏名	主な教育活動	活動期間
吉川 博	大手前大学において教職課程社会科教育法の担当講師を務めた。	2013年
	教員採用試験対策講座において、「教育法規」等の講座を担当している。	2014年～
	立命館大学において、「(教)教職実践演習」の授業を担当した。	2015年
	立命館大学において、大阪府教員採用試験対策に特化した「思考力・判断力」の講座を担当している。	2015年～
	「教職支援センターからみた学生支援の変遷」(『立命館教職教育研究』第4号)を共同で執筆した。	2016年
三田 耕一郎	「学力・学習状況調査をどう活かすか」(『格差をこえる学校づくり』(大阪大学出版会 編著者 志水宏吉)において、「下位層の学力保障方策について」(pp.190-209)の項の分担執筆を行った。	2011年
	日本教育社会学会第64回大会(同志社大学)において、「学習指導要領改訂と教員文化(～K市中学校教員調査に基づく授業改善方策について～)」をテーマに、発表を行った。	2012年
	神戸大学附属中等教育学校「文部科学省指定研究開発学校運営指導委員」として、高等学校学習指導要領「歴史基礎」、「地理基礎」のカリキュラム開発研究を行っている。	2013年～
	日本教育社会学会第66回大会(松山大学)において、「小中連携教育における学校改善(～小中連携による効果のある学校づくりについて～)」をテーマに発表を行った。	2014年
	甲南大学教職支援センターにおいて、非常勤講師として教職対策講座を分担担当。	2015年～
富永 直也	特別支援教育デザイン研究会委員として、ポータルサイト「特別支援教育のための教材」( <a href="http://www.ekokoro.ne.jp/ss/1/">http://www.ekokoro.ne.jp/ss/1/</a> )の教材開発・企画を行っている。	2015年～
	大阪大学において、全学教育推進機構非常勤講師として「教育方法学」の講義を行っている。	2015年～
	独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」として教材開発・普及活動を行っている。	2016年～
	『できてつむりのアクティブラーニング』(片山紀子編著)において「さあ やってみよう!」(第7章1)の分担執筆を行った。	2016年
	母子健康手帳データ化推進協議会委員として総務省IoTサービス創出支援事業「スマートキッズCity “YAOCO” 成長への切れ目のない支援」に参画、八尾市における幼児教育の支援活動を行った。	2017年
原田 陽子	大阪大学国際課拠点整備事業(グローバル30)の外部評価委員を務めた。	2014～2015年
	『大学時報357号』(一般社団法人日本大学連盟)において、「探求的学習において求めたい高大連携の在り方」を執筆した。	2014年～
	大阪女学院大学・短期大学において、非常勤講師として「教育学概論」「教育学の世界」の講義を担当している。	2015年～
	立命館大学において、「(教)教育実習の研究(事前指導)」の講演を担当した。	2015年
	「教職支援センターからみた学生支援の変遷」(『立命館教職教育研究』第4号)を共同で執筆した。	2016年
松本 賢一	奈良県小学校教科等研究会社会科部会において、会長を務めた。	2012～2013年
	佛教大学において、「教育実習研究」「教職実践演習」等の講義を担当していた。	2013～2018年
	佛教大学において、教育実習指導や教員採用試験対策の指導をしていた。	2013～2018年
	立命館大学教員採用試験対策講座において、「学習指導要領」「教職教養」「小学校全科」「面接実技」等の講座を担当している。	2018年～
	佛教大学教職支援センター紀要第5集～第9集において、「教職を目指す人のために」「小学校社会科授業の課題」「教育実習に思うこと」「教育実習に思うこと②」「学生教育相談・学生面談指導実施報告」を執筆した。	2013～2018年
渡部 浩三	教員採用試験対策講座において、「特別支援教育」「特別支援教育演習」・「面接実技講座」等の講座を担当している。	2014年～
	立命館大学において「教職実践演習」の授業を担当した。	2015年
	花園大学において、非常勤講師として「特別支援教育指導法Ⅰ」「特別支援教育指導法Ⅱ」の講義を担当している。	2015年～
	立命館大学において、「特別支援教育の研究」の授業を担当した。	2015年
	「教職支援センターからみた学生支援の変遷」(『立命館教職教育研究』第5号)を共同で執筆した。	2016年
加賀 友子	アジア生物教育協議会 隔年会議インド大会(ゴア大学)に参加し、発表を行った。	2016年
	四天王寺大学教育学部において准教授として「教職教養研究Ⅰ～Ⅳ」、理科の指導法に関する科目(「理科演習」)等担当した。	2017年
	大阪女学院大学において、非常勤講師として、理科に関するキャリア支援を担当している。	2017年～
	日本生物教育学会全国大会(熊本大学)において、「文科系大学における環境教育の効果について」をテーマに発表を行った。	2018年～
	「21世紀国際共生のための教育者・研究者交流活動」(『大阪女学院大学紀要』)を執筆した。	2018年
茂野 賢治	地域のボランティア活動として「青少年の見守り活動」を行っている。	2015年～
	教員採用試験対策講座において、「中高数学」、「学習指導」、「教育課程」などの講座を担当している。	2016年～
	教育採用試験の小論文指導を反転型の形態で行っている。	2016年～
	教育採用試験の面接指導をICT活用により行っている。	2016年～
	日本教育工学会「大学教員のためのFD研修会」担当講師の担当講師を務めている。	2016年～
安井 勝	「教育力量形成において子どもと教師の関係性省察を深化させる教師像の実践的研究」(日本学校教育学会編『学校教育研究第29号』2014年、教育開発研究所)を執筆した。	2014年
	「学校小カウセンリングと学校ソーシャルワークの接合に関する実践的研究—不登校女兒とその家庭への教師による訪問型支援から—」(『名古屋女子大学紀要第61号家政・自然編 人文・社会編』2015年)を執筆した。	2016年
	「科学的認識に基づいた「道徳教育」に関する考察—文部科学省「私たちの道徳」における、主として集団や社会とのかかわりに関する領域の「読み物」分析を通して—」(『立命館教職教育研究』第3号)を共同で執筆した。	2016年
	「KEY WARD30学校不適応」日本学校教育学会編『これからの教育を担う教師を目指す』(2016年学事出版)を執筆した。	2016年
	「教職志望学生の自主ゼミ活動への支援を中核とした教職支援活動～教師像の主体化に向けたびわこ・くさつキャンパス教職支援センターにおける取り組み～」(『立命館教職教育研究』第4号)を共同で執筆した。	2017年
渡邊 孝	財団法人京都府体育協会の理事(総務部 委員長)を務めている。	2014年～
	教員採用試験対策講座において、「保健体育」、「生徒指導」、「面接実技」等の講座を担当している。	2016年～
	体育実技試験対策練習会の講師を担当し、水泳や器械運動、陸上競技などの指導を行っている。	2016年～
	京都府教育委員会 京の子どもダイヤモンドプロジェクト京都キッズジュニア選手育成部会の部会長を務めている。	2017年
	「教職志望学生の自主ゼミ活動への支援を中核とした教職支援活動～教師像の主体化に向けたびわこ・くさつキャンパス教職支援センターにおける取り組み～」(『立命館教職教育研究』第4号)を共同で執筆した。	2017年